リーナとザイドは、おじいちゃんとおばあちゃんのおうちへいくのが、だいすきです。長いお休みには、いつも、お父さんとお母さんが、おじいちゃん、おばあちゃんのおうちへつれていってくれて、おとまりするので、おやすみがくるのを、いつもたのしみにしています。

リーナ：　「はやく、お休みの日にならないかな～。おじいちゃんたちのお家へ行くの、楽しみだな～。」

イードの日になりました。みんなでおじいちゃん、おばあちゃんのおうちへいって、いっしょに夕ご飯を食べました。

夕ご飯の前に、みんなで食べる前のドゥアーを言います。

【一緒に読みましょう】

「ビスミッラー。アッラーフンマ　バーリク　ラナー…（ドゥアー）」

（食べる）

リーナとザイド：　「ああ、おいしかった～！」

食べ終わった後、みんなで食べた後のドゥアーを言いました。

【一緒に読みましょう】

「アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アトアマニー・・・（ドゥアー）」

そして、リーナとザイドは、その日、おじいちゃんたちのおうちにとまりました！

おじいちゃん、おばあちゃんは、いろいろなイスラームのおはなしをしてくれました。

夜、お休みの時間になっても、リーナとザイドは、まだねたくありません。おじいちゃんたちが、いろいろなおはなしをしてくれるのが、たのしくて、もっと、もっとききたいからです。

ザイド：　「まだ、寝たくないな～。」

リーナ：　「うん、もっと、お話が聞きたい！」

おばあちゃんがいいました。

「また、明日の朝になったら、お話の続きをしてあげるからね。今は、もう寝ましょうね。」

リーナとザイドは、すぐにおへんじをして、いうことをききました。

「はーい、おばあちゃん！明日、また続きね！もう寝る準備するね！」

二人は、パジャマに着替えました。

歯も磨きました。

そして、おじいちゃん、おばあちゃんにお休みの挨拶をしました。

（抱き付いて挨拶）

リーナたち：　「おやすみなさい、アッサラーム　アライクム！」

おじいちゃんたち：　「ワアライクムッサラーム」

おばあちゃんが、二人にふとんをかけてくれました。

おばあちゃん：

「寝るときのドゥアーを言おうね。まずは、ムアウウィザタインを言うんだよ。ムアウウィザタインは、ファラク章とナース章のことだよ。二人は、もうファラクとナース、覚えてる？」

二人：　「うん！」

おばあちゃん：　「マーシャーアッラー！えらいね！ファラクとナースを読んだら、今度はアーヤトルクルシーも言うんだよ。アーヤトルクルシーも言えるかな？」

ザイド：　「うん！言えるよ！お父さん、お母さんに教えてもらった！」

リーナ：　「私も、もう覚えてる！」

「二人ともマーシャーアッラー！ムアウウィザタインとアーヤトルクルシーはね、お守りなの。これを言うと、シャイターンや悪いものから、アッラーが守ってくれるんだよ。寝るときじゃなくても、もし怖いことがあったら、ムアウウィザタインとアーヤトルクルシーを読むといいよ。」

ザイド：　「そうなんだ！僕、虫が怖いから、今度、怖い虫を見たら、言ってみよっと！」

リーナ：　「私も、たまに暗いところが怖いから、怖くなったら言ってみる！アッラーが守ってくれると思うと、安心だね！」

そして、リーナと、ザイドは、おばあちゃんと一緒にスーラとドゥアーを言いました。

【一緒に読みましょう】

（ファラク章、ナース章、アーヤトルクルシーを一緒に読む。）

そして、リーナとザイドは、おばあちゃんにお休みのキスをしました。

おばあちゃんが、部屋を出ようとしたら、リーナとザイドがうつぶせで、お腹を下にして寝ているのに気付きました。

「あれあれ、お腹を下にして寝るのは良くないんだよ。預言者様（ｻｯﾗｯﾗｰﾌ　ｱﾗｲﾋ　ﾜｻｯﾗﾑ）は、体の右側を下にして寝るのが良いと、教えてくださってるんだよ。」

ザイド：　「そうなんだ！知らなかった！」

リーナ：　「おばあちゃん、教えてくれて、ありがとう！」

そして、リーナとザイドは、言われた通り、体の右側を下にして、寝ました。

朝のファジュルの時間になると、おじいちゃん、おばあちゃんが、二人を起こしにきました。

おじいちゃん：

「リーナ、ザイド、お祈りの時間だよ。」

（二人、目を覚ます。）

おばあちゃん：　「ウドゥーをしておいで。一緒にお祈りしようね。」

二人、（目をこすりながら）、「はーい！」

二人は、ウドゥーをしてから、おじいちゃんたちと一緒にお祈りをしました。

（礼拝）

二人は、おじいちゃんたちと一緒にお祈りできて、とっても良い気分でした。

朝ごはんのあと、約束通り、おじいちゃんたちが、昨日のお話の続きをしてくれました。

少し経つと、お父さんたちが迎えに来ました。

リーナとザイドはおじいちゃんたちにキスをして、お礼を言いました。

（抱き付いてキス）

「ジャザークムッラーフ　ハイラン！」

「ワイイヤークム！」

「アッサラーム　アライクム　ワラフマトゥッラーヒ　ワバラカートゥフ」

「ワアライクムッサラーム　ワラフマトゥッラーヒ　ワバラカートゥフ！」